

# 第6学年 体育科 学習指導案

日時 平成20年 9月 3日(水) 5校時  
場所 津軽石小学校体育館  
児童 6年1組 男7名 女13名 計20名  
指導者 佐藤 新

## 1 単元名 ソフトバレーボール

## 2 単元について

### (1) 教材について

ボール運動は、ボールを扱うことを通して、ルールや作戦を工夫し、集団対集団の攻防によって競争することに楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

ソフトバレーボールはネット形の運動である。ネットで区切られたコートの中で攻防を組み立て、一定の得点に早く達することを競い合う運動である。

ソフトバレーボールのよさは、ネットを挟んで2チームに分かれ、自分たちの陣地で相手にじゃまされることなく態勢を立てて攻撃できる点にある。ネット形のゲームは、バスケットボールやサッカーなどのような接触プレーを好まない児童にとって取り組みやすい運動である。また、バレーボールに比べて、柔らかいボールを使用することで恐怖心を取り除き、ゲームに参加することができる。これにより、当たっても痛くなく、バレーボールの特性である「ラリーの楽しさ」を味わうことができる。さらに、他の教材に比べて経験差が少なく、どの子もほぼ同じ技能からスタートすることも特徴である。

ソフトバレーボールは、チームが協力し、心が通い合わないパスがつかない。チームワークが重要になる運動のため、仲間と協力して授業を進めて行くことに適した教材である。また、攻防のためのボール操作を身に付けることや、ボールの落下点に走り込む、味方をサポートするなどのボールを扱わないときの動きを高めることに適した教材である。

### (2) 児童について

児童は、男女間の関係も良く、協力して運動に参加することができるものの、全体的に真面目でおとなしい性格の児童が多く、声を大きく出して活動する場面は多くない。そこで、チームワークが重要になるソフトバレーボールに取り組むことによって、仲間との関わり合いを一層育てていきたい。

スポーツテストの県平均と比較してみると、全体的に50m走の能力が低い。日常の体育でも、走力を向上させる準備運動を意識している。ボール運動に関しては、全体的に好きな児童も多いが、種目によって苦手意識がある児童もあり、今回のソフトバレーボールは比較的経験差が少なく、どの子もほぼ同じ技能からスタートできるため、意欲も持続するものと考えられる。

児童は、昨年も授業でソフトバレーボールに親しんできた。ソフトバレーボールにさわること、ボールをはじいて行う運動を体験することも初めてだったため、非常にとまどいがあった。始めから試合形式での楽しさを求めて授業を展開してしまうと、上手な子どもだけが1回で相手チームに返してしまい、他の児童がソフトバレーボールの楽しさを味わうことができないうと考え、チーム全員がボールにふれてから相手コートに返すルールで行った。(何回で返してもよく、何回でもワンバウンドあり)全員がさわられるようにすることで、スピードがあるゲーム展開ではなかったが、仲間を思いやってパスをつなごうとする姿勢が見られた。

事前アンケート結果では、好き・どちらかといえば好きが14人で、ほとんどの児童が好きと答えている。ソフトバレーボールのおもしろさは、「ボールがやわらかい」「仲間同士でボールがうまくつながったとき」がそれぞれ1人いた。本単元の学習で、ラリーを続ける楽しさを体験し、ソフトバレーボールの魅力にふれさせたい。

### (3) 指導にあたって

本単元では、ラリーをつないで攻防する楽しさにふれることをねらいとしている。ラリーをつなぐためには、メンバーと協力して、いかに自分のコート内でボールを落とさずに、相手コートにボールを送るかが重要になってくる。

そのために指導の手立てとして、以下のことを取り上げていきたい。

- ① 単元前半は、アンダーハンドパスやオーバーハンドパスで味方が受けやすいようボールをつなぐことを学習内容とし、単元後半は相手コートにサービスを打ち入れることと相手コートにボールを打ち返すことを学習内容とする。
- ② 1単位時間の前半に、ボール操作の技術を高める場を設定し、後半に習得した学習内容を活用できる課題ゲームを実施する。(個人及び集団技能の向上)
- ③ ミスを責めず、失敗をおそれない雰囲気作りを進める。(チームワーク)
- ④ 他人や他のチームからよりよいプレーを学ぶ姿勢を高めるようにする。

## 3 単元の目標

### 【関心・意欲・態度】

- ・ルールやマナーを守り、勝敗に対して正しい態度をとり、仲間とともにソフトバレーボールに進んで取り組もうとする。
- ・互いに協力して活動の場を作ったり、用具の準備を行ったりして、安全面に留意したりして、練習やゲームをしようとする。

### 【思考・判断】

- ・ラリーをつないで攻防するために、自分のチームの課題を見つけたり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたり、作戦を成功させるための練習を選んだりしている。

### 【技能】

- ・アンダーハンドパスやオーバーハンドパスでボールをつなぐことができる。
- ・相手コートにサービスを打ち入れることやボールを打ち返すことができる。

4 指導計画（9時間）

時	学習内容と学習活動	目 標	主な評価規準
1	<p>◎オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の流れ、1単位時間の流れ、約束の理解</li> <li>準備、後片付けの仕方、役割分担</li> <li>準備運動の進め方</li> <li>ルール作り</li> <li>学習カードの使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カードの使い方や準備の仕方など単元の学習の進め方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カードの使い方や準備の仕方など単元の学習の進め方を理解し、ソフトバレーボールの活動に進んで取り組もうとする。（関心・意欲・態度）</li> </ul>
2 ・ 3	<p>味方が受けやすいようボールをつなぐこと①</p> <p>◎ルールになれ、基本技能を学び、ゲームを楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルールの確認</li> <li>基本技能「アンダーハンドパス」</li> <li>課題ゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間とともに協力してゲームに臨み、基本技能「アンダーハンドパス」を意識して活動する。</li> <li>基本技能「アンダーハンドパス」のポイントを理解し、技能を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームワークを大切にして基本技能練習や課題ゲームに進んで取り組もうとする。（関心・意欲・態度）</li> <li>アンダーハンドパスでボールをつなぐことができる。（技能）</li> </ul>
4 ・ 5 本時 2 / 2	<p>味方が受けやすいようボールをつなぐこと②</p> <p>◎ルールになれ、基本技能を学び、ゲームを楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルールの確認</li> <li>基本技能「オーバーハンドパス」</li> <li>課題ゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間とともに協力してゲームに臨み、基本技能「オーバーハンドパス」を意識して活動する。</li> <li>基本技能「オーバーハンドパス」のポイントを理解し、技能を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームワークを大切にして基本技能練習や課題ゲームに進んで取り組もうとする。（関心・意欲・態度）</li> <li>オーバーハンドパスでボールをつなぐことができる。（技能）</li> </ul>
6	<p>相手コートにサービスを打ち入れること</p> <p>◎ルールになれ、基本技能を学び、ゲームを楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルールの確認</li> <li>基本技能「サービス」</li> <li>課題ゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間とともに協力してゲームに臨み、基本技能「サービス」を意識して活動する。</li> <li>基本技能「サービス」のポイントを理解し、技能を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームワークを大切にして基本技能練習や課題ゲームに進んで取り組もうとする。（関心・意欲・態度）</li> <li>相手コートにサービスを打ち入れることができる。（技能）</li> </ul>
7	<p>相手コートにボールを落とすこと</p> <p>◎ルールになれ、基本技能を学び、ゲームを楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルールの確認</li> <li>基本技能「相手コートにボールを落とす」</li> <li>課題ゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間とともに協力してゲームに臨み、基本技能「相手コートにボールを落とすこと」を意識して活動する。</li> <li>「相手コートにボールを落とす」ポイントを理解し、技能を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームワークを大切にして基本技能練習や課題ゲームに進んで取り組もうとする。（関心・意欲・態度）</li> <li>相手コートにボールを落とすことができる。（技能）</li> </ul>
8 ・ 9	<p>攻防する楽しさにふれること</p> <p>◎相手チームに応じた攻め方や守り方を工夫し、チームを盛り上げてゲームを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チーム毎の作戦</li> <li>チーム毎の練習</li> <li>ゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手チームの特徴を考え、作戦を立てたり、練習したり、ゲームに取り組んだりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手チームの特徴を考え、作戦を立てたり、練習したり、進んでゲームに取り組んだりしようとする。（関心・意欲・態度）</li> <li>攻防するために、自分のチームの課題を見つけたり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたり、作戦を成功させるための練習を選んだりしている。（思考・判断）</li> </ul>

5 本時の指導

(1) 目標

- ① チームワークを大切に、基本技能練習や課題ゲームに進んで取り組もうとする。  
〔関心・意欲・態度〕
- ② オーバーハンドパスでボールをつなぐことができる。〔技能〕

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

	おおむね満足できると判断できる視点 B	十分満足できると判断できる視点 A	努力を要する児童への対応・手だて C
関心・意欲・態度	・チームワークを大切に基本技能練習や課題ゲームに進んで取り組もうとする。	・チームワークに進んで気を配り、基本技能練習や課題ゲームに自ら進んで取り組もうとする。	・基本技能練習や課題ゲームの取り組み方について個別に助言したり励ましたり、よい動きを賞賛したりする。
技能	・オーバーハンドパスで味方にボールをつなぐことができる。	・味方が受けやすいようなオーバーハンドパスでくり返し味方にボールをつなぐことができる。	・オーバーハンドパスでつまづいている部分を理解させ、くり返し練習させる。

(3) 本時の展開

段階	学習活動・教師の指導	留意点（・）評価（◇）
導入 10分	1 準備・集合・挨拶 2 準備運動 3 本時の課題確認  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             オーバーハンドパスでボールをつなげよう           </div> ○技能ポイントにふれる（ボールをつく位置、手の形、体全体を使って送り出す）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトバレーボールにつながる準備運動を行う。</li> <li>・体力向上につながる運動も盛り込む。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能ポイントを意識させる。</li> </ul>
展開 27分	4 課題解決に向けての基本技能練習 ○チームの特徴に応じたドリルゲームを行う。 ・ステージパスゲーム ・斜面を使った連続パスゲーム ・円陣パスゲーム  5 課題ゲーム（ラリーゲーム） (1) ゲーム（前半） ※チームから、観察・記録をする人を一人決め、観察をする。 ○ボールをつなげるポイントを確認させ、ゲームに入る。  (2) ゲーム（前半）の振り返り ○ボールをつなげるための助言や改善策を示したり考えさせたりする。  (3) ゲーム（後半） ※チームから、観察・記録をする人を一人決め、観察をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇基本技能練習や課題ゲームに進んで取り組んでいる。 （関心・意欲・態度）</li> <li>・巡回しながら、プレーの評価や一人一人への声かけを行う。</li> <li>・相手にとりやすいオーバーハンドパスができていないかアドバイスをさせる。 （ポイント：つく位置、手の形）</li> <li>◇オーバーハンドパスで味方にボールをつないでいる。（技能）</li> <li>・オーバーハンドパスができていないかどうか、またナイスプレーができていない人を観察・記録係に記入させる。</li> <li>・チームワークを大切にするように、声かけをする。</li> <li>・声を出させチームを盛り上げさせる。（ミスしても気にしない）</li> </ul>
終末 8分	6 整理体操 7 ふりかえり・まとめ 自分やチームのよさ・課題を見つめ、ふりかえる。  8 次時の連絡  9 挨拶・後始末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手にとりやすいオーバーハンドパスができていた人やよいプレーができていた人などを紹介する。（記録や観察から）</li> </ul>